

原 文 (掲載事項・掲載事由)

修 正 文

発展 戦争と民衆	学習指導要領の「内容」の(5)カ「昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動きに着目させて……戦時下の国民の生活に着目させる」に示す内容を学習指導要領に示していない内容として取り
	扱っており、不適切である。

(「発展 戦争と民衆」は、「深める歴史10 戦争と民衆と」というテーマ学習として、該当箇所におく。)

発展

戦争と民衆

戦争にまきこまれた国民

日本は、明治時代の富国強兵政策以後、軍備拡張の道をたどり、昭和時代に満州事変・日中戦争、そして太平洋戦争と戦争を継続してきました。とくに太平洋戦争では、東京をはじめ全国規模で空襲を受け、約20万が犠牲となり、143万戸が焼失しました。本土で唯一の戦場となった沖縄、原爆が落とされた広島・長崎でもたくさんの人びとがなくなっています。また、満州に移住したおよそ20万人のうち7万人が終戦時のソ連の侵攻などでなくなり、生き残った人びともきびしい苦難がまっていました。太平洋戦争での日本人の死者・行方不明者の数は、253万人をこえています。

植民地や占領下の民衆と戦争

日本が植民地としたり、侵略し支配したりした地域は、朝鮮や中国、東南アジアなどのひろい領域にわたりました。こうした地域の人びとも戦争にまきこまれました。占領地では日本軍による現地の価格より安い物資の徴



東京大空襲(東京市) 1945年3月10日未明、東京がうけた大空襲で、下町は全焼しました。およそ10万人もの人が死亡したと推定されています。

発やときには略奪や暴行、強制労働もおこなわれました。朝鮮や台湾には徴兵制がしかれ、それぞれおよそ20万人、2万人が太平洋戦争に動員されました。また、日本本国や樺太などへ労働力として強制的に連行された人びとは、植民地であった朝鮮から約72万人(1939～45年)、占領下にあった中国からは約4万人(1943～45年)にのぼるといわれています。



原爆によって被災した浦上天主堂(広島市) 1945年8月9日、原爆が広島市の浦上地区に投下され、6～7万人が死亡したと推定されています。



満洲の花嫁 せびしい満洲での満洲国移住は政府の進言のなかで、多くの「中国強制労働」を生むこととなりました。

深める歴史

10

戦争と民衆と

◆植民地や占領下の民衆と戦争

日本が植民地としたり、侵略し支配したりした地域は、台湾や朝鮮、中国、東南アジアなどのひろい地域にわたりました。中国のような戦争の相手国でなくても、人びとは日本の戦争にまきこまれました。占領地では日本軍による現地の価格より安い物資の徴発やときには略奪や暴行、強制労働もおこなわれました。朝鮮や台湾には徴兵制がしかれ、それぞれおよそ20万人、2万人が太平洋戦争に動員されました。また、日本本国や樺太などへ労働力として強制的に連行された人びとは、植民地であった朝鮮から約72万人(1939～45年)、占領下にあった中国からは約4万人(1943～45年)にのぼるといわれています。

◆戦後補償の課題

徴兵制や強制連行などによって、戦地に送られたり、過酷な労働を強いられたりしたのは男性だけではなく、女性も含まれていまし



東京大空襲(東京市) 1945年3月10日未明、東京がうけた大空襲で、下町は全焼しました。およそ10万人もの人が死亡したと推定されています。

た。さらに広島・長崎で被爆した朝鮮人、日本軍として占領地で終戦をむかえ、戦争犯罪人とされた朝鮮や台湾の人びともいました。こうした人びとのなかには、個人の立場から日本政府や企業などに謝罪と補償をもとめている人もいます。

◆日本国民も被害者となった

明治時代に経験した日清・日露の二つの戦争では、約10万の日本兵が朝鮮や満州などで戦死していますが、昭和時代の日中戦争・太平洋戦争では200万以上の日本兵が海外の戦場でなくなり、一般人も戦争の犠牲となりました。とくに太平洋戦争の末期には日本への空襲がはじまったため、国内に暮らしていた女性や子どもまで戦争に直接まきこまれました。東京をはじめ、全国規模で空襲を受け、約20万が犠牲となり、240万戸の家屋が損失しました。



原爆によって被災した浦上天主堂(広島市) 1945年8月9日、原爆が広島市の浦上地区に投下され、6～7万人が死亡したと推定されています。



松代(長野県)の大本営跡 太平洋戦争中に首都機能の移転を想定し、松代近郊の3ヶ所に、およそ10kmにおよぶ地下壕がつくられました。この工事には、約3000人の日本人と7000人の朝鮮人がたずさわったといわれています。志願した者もいますが、なかには強制連行によって日本に連れてこられた労働者もいました。この地下壕のなかには、こうした朝鮮人労働者による落書きもみられます。また、地下壕の近くに住んでいた住民は、秘密を守るために強制立ち退きを命じられました。



戦後補償の課題

徴兵制や強制連行などによって、戦地に送られたり、過酷な労働を強いられたりしたのは男性だけではなく、女性も含まれていました。さらに広島・長崎で被爆した朝鮮人、日

本軍として占領地で終戦をむかえ、戦争犯罪人とされた朝鮮や台湾の人びともいました。こうした人びとのなかには、個人の立場から日本政府や企業などに謝罪と補償を求められている人もいます。

戦争の悲惨さ、平和のたいせつさを伝える場所を調べてみよう

【沖縄】 沖縄は、太平洋戦争最後の地上戦がおこなわれた場所です。さらに、日本では唯一県民を総動員した地上戦となったところでもあります。この沖縄戦は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっています。

- 原爆ドーム【広島】 爆心地近くにある元広島県産業奨励館。1995年世界文化遺産に登録
- 広島平和記念資料館(原爆資料館)【広島】 原爆投下による被害をさまざまな角度で展示
- 昭和館【東京】 戦中・戦後の国民生活の実物資料、文献資料などを展示・閲覧
- 大田区平和センター【大阪】 大阪大空襲や15年戦争などのテーマ別に展示
- 長崎原爆資料館【長崎】 原爆投下による被害をさまざまな角度で展示
- 沖縄平和記念資料館【沖縄】 沖縄戦の資料展示、文献資料の展示・閲覧



平和の礎 沖縄戦跡国立公園(摩文仁)にあるこの碑は、沖縄戦終結50年を記念して、1995年に建てられました。沖縄戦で犠牲になったすべての人たち(国兵・軍人・被爆者)の氏名が刻まれています。



松代(長野市)の大本営跡 太平洋戦争中に首都機能の移転を想定し、長野市松代近郊の3ヶ所に、およそ10kmにおよぶ地下壕がつくられました。この工事には、約7000人の朝鮮人がたずさわったといわれています。志願した者もいますが、なかには強制連行によって日本に連れてこられた労働者もいました。この地下壕のなかには、こうした朝鮮人労働者による落書きもみられます。また、地下壕の近くに住んでいた住民は、秘密を守るために強制立ち退きを命じられました。



本土で唯一の戦場となった沖縄、原爆が落とされた広島・長崎でもたくさんの人びとがなくなっています。また、満州に移住した農民、およそ20万人のうち7万人が終戦時のソ連の侵攻などでなくなり、生き残った人びとにも

きびしい苦難がまわっていました。太平洋戦争での日本人の死者・行方不明者の数は、253万人をこえています。戦争の相手国、占領地の人びとだけでなく、国民も戦争の犠牲になったのです。

戦争の悲惨さ、平和のたいせつさを伝える場所を調べてみよう

【沖縄】 沖縄は太平洋戦争最後の地上戦がおこなわれた場所です。さらに、日本では唯一県民を総動員した地上戦となったところでもあります。この沖縄戦は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっています。

- 原爆ドーム【広島】 爆心地近くにある元広島県産業奨励館。1995年世界文化遺産に登録
- 広島平和記念資料館(原爆資料館)【広島】 原爆投下による被害をさまざまな角度で展示
- 昭和館【東京】 戦中・戦後の国民生活の実物資料、文献資料などを展示・閲覧
- 大阪区平和センター【大阪】 大阪大空襲や15年戦争などのテーマ別に展示
- 長崎原爆資料館【長崎】 原爆投下による被害をさまざまな角度で展示
- 沖縄平和記念資料館【沖縄】 沖縄戦の資料展示、文献資料の展示・閲覧



平和の礎 沖縄戦跡国立公園(摩文仁)にあるこの碑は、沖縄戦終結50年を記念して、1995年に建てられました。沖縄戦で犠牲になったすべての人たち(国兵・軍人・被爆者)の氏名が刻まれています。

